

「あいロード」もつと甘く

石狩市が観光PRに努める「あいロード」を支援するため、市内の菓子店「プリンスヒマラヤ」「和洋菓子のなかむら」「ボンヌール」が協力し、4種類のスイーツを開発して売り出した。

「あいロード」とは、同市内の「恋人の聖地」とされる「厚田公園展望台」（厚田区）と、ハート形モニュメントのある「ふるさと公園」（浜益区）をつなぐ、国道231号の愛称。スイーツを売り出したのは、若いカップルを呼び寄せ、「あいロード」をPRするのが狙いだ。

「メロン・ムース」「抹茶のムース」「マンゴーのロールケ



石狩市の「あいロード」を盛り立てるスイーツ

石狩の菓子店新製食品でPR

一キ」は、3店がそれぞれ製造販売し、焼き洋菓子「マドレーヌ」は3店共通で販売している。

開発には市内にキャンパスのある藤女子大人間生活学部の学生約20人が協力し、風水なども参考に菓子の色具合も決めたという。同大4年の日置由佳さん(21)は「イメージ通りにスイーツを作ってもらえた」と喜んでた。問い合わせは同市商工労働観光課(0133・72・3167)へ。